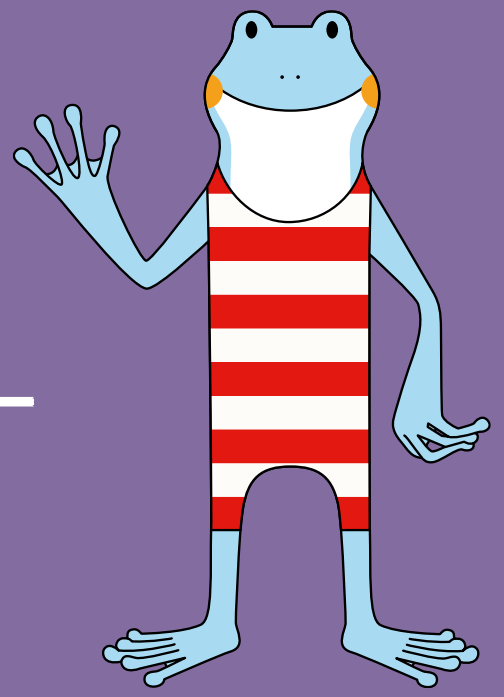
TOKYO OPEN WATER SWIMMING

TOWS

大島2023

監督者会議

公益財団法人東京都水泳協会
OWS委員会



TOKYO OPEN WATER SWIMMING 大島2023

主 催：公益財団法人東京都水泳協会

共 催：東京都大島町・東京都大島町教育委員会

主 管：公益財団法人東京都水泳協会 OWS 委員会

後 援：東京都・株式会社オーエンス・大正製薬株式会社
一般財団法人大島観光協会・東海汽船株式会社

協 力：公益財団法人日本ライフセービング協会
公益財団法人東京都ライフセービング協会
京王観光株式会社

１．監督者会議

日　時 ： 2023年6月30日（金）　18：00～
場　所 ： オンライン

追加要項記載のＵＲＬから参加すること。
事前に本資料をHPからダウンロードし確認しておくこと。

2．監督者会議次第

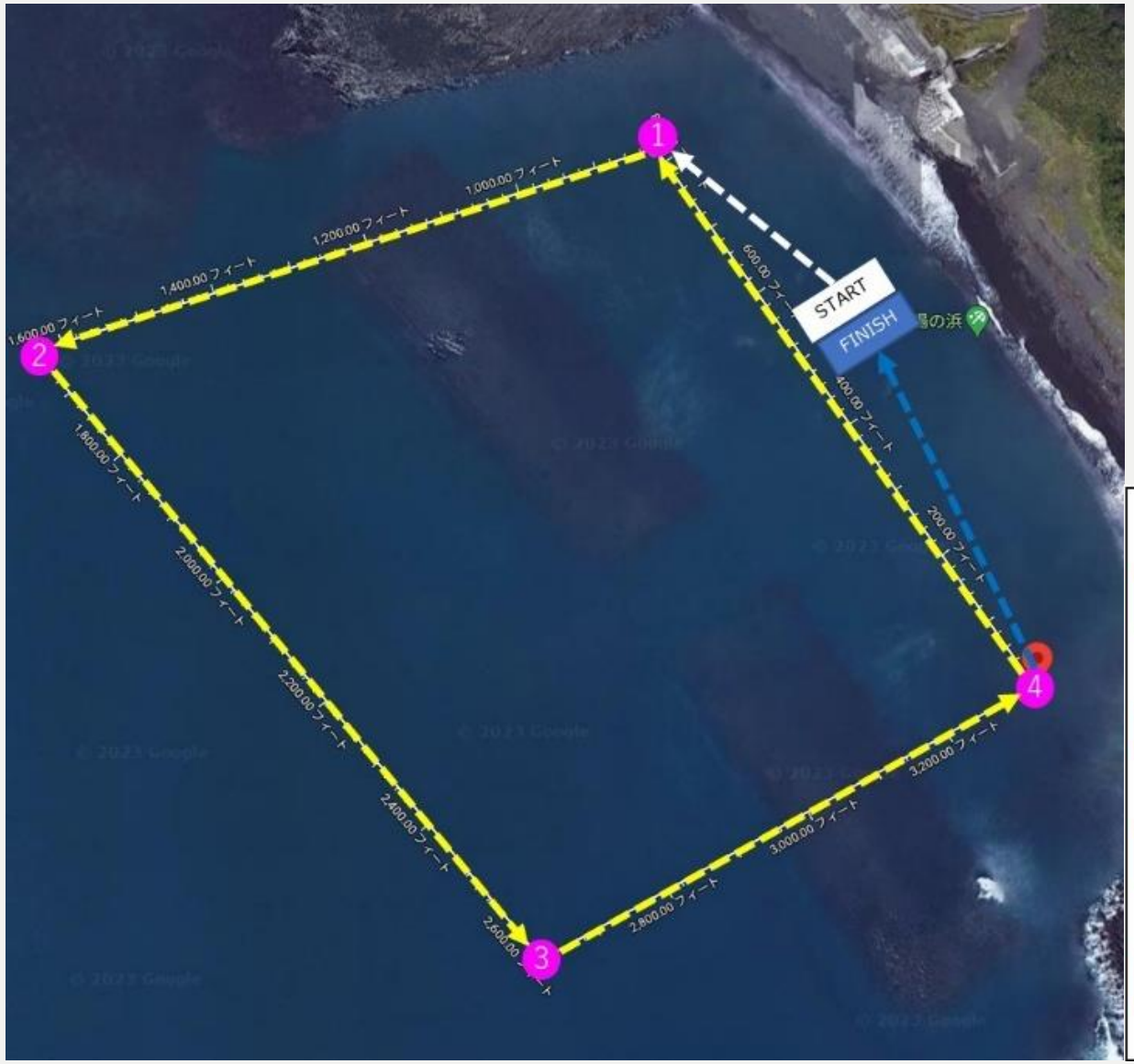
挨　　拶　（公財）東京都水泳協会
　　OWS委員会　　委員長　原　　怜来

大会概要等　（公財）東京都水泳協会
　　本大会審判長　　審判長　勝又　大和

代表選考会　（公財）東京都水泳協会
　　OWS委員会　　委員長　原　　怜来

質 疑 応 答

3．競技について



- 本競技は「（公財）日本水泳連盟OWS競技規則」に則り実施する（一部ローカルルールを適用する）
- 反時計周りで、常にブイの右側を泳ぐ
- 故意に他の選手の不利益となる泳ぎをしない
- 違反した者にはイエローまたはレッドカード
- LAP計測の為、毎周回フィニッシュゲートにタッチすること

1周 約1,000m

1	34° 44'38.9"N 139° 21'16.3"E	34.744139, 139.354528
2	34° 44'36.4"N 139° 21'07.0"E	34.743440, 139.351952
3	34° 44'28.9"N 139° 21'14.6"E	34.741368, 139.354044
4	34° 44'32.3"N 139° 21'22.0"E	34.742306, 139.356111

4-1．大会当日

2023年7月1日（土）	18：00	大会可否判断HP掲載
	10：30	選手受付開始 公式練習開始（指定エリアのみ）
	11：30	公式練習終了 5km招集
	12：00	男子5kmスタート
	12：02	女子5kmスタート
	14：00	選手受付終了
	14：30	3km・1km招集
	15：00	3km・1kmスタート
	17：15	懇親会受付
	17：30	表彰式・懇親会

4-2．大会当日

2023年7月2日（日）	18：00	大会可否判断HP掲載 選手受付開始 公式練習開始
	18：20	選手受付終了 公式練習終了
	18：30	招集
	19：00	リレースタート
	10：30	表彰式

5．会場図

・招集所、本部の黄色のテント付近は、
選手・コーチ、競技役員の関係者のみ入場可

６．大会当日　選手受付

・選手受付の際は「健康チェックシート」、「選手ＡＤカード」を提出、競技で着用する水着、スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）チェックをおこなう。

・「健康チェックシート」、　「選手ＡＤカード」は HP からダウンロードすること。

・ナンバリングは大会スタッフが油性ペンにて行う。

・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。
Finaマークが見えるように提示すること。（※マスターズの部、３ｋｍ、１ｋｍ、リレーの参加者は除く）

・手足の爪の手入れをし、装飾品（ジュエリー類）を取り外してから選手受付をおこなうこと。

・５ｋｍと３ｋｍの両種目にエントリーしている選手は、５ｋｍ終了後、３ｋｍの招集に間に合うよう、受付にてトランスポンダー受け取りとナンバリングを行うこと

Tokyo Swimming Association

7．選手招集

- 5kmは7/1の11：30、1km・3kmは7/1の14：30
  リレーは7/2の8：30に招集所に集合すること。

- 審判長からの最終ブリーフィング後、荷物を招集所に置き、競技役員の指示に従いビーチへ移動する。

- 手荷物は全て招集所にて管理。

8．スタート

・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。

・選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手（片手）でロープを握り、フローティングで待機する。

・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグの振り下ろし）によりスタートする。

・LAP計測の為、毎周回フィニッシュゲートにタッチすること

９．フィニッシュおよび途中退水

・フィニッシュはガイドコースロープの間をとおり、フィニッシュエリアに入って、
ゴールタッチ板に向かう事

・ガイドコースロープの途中からくぐってフィニッシュエリアに入った選手は失格とする。

・ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。（手のひらで確実にタッチすること）

・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。

・ゴール後、すみやかに岸側へ移動し、コースから外れること

・競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。

１０．表彰

・対象　　5km　エリートの部　　男女各３位までの入賞者
　　マスターズの部　男女各３位までの入賞者
　　1位の選手にはクリスタルを授与する
　　3km、1km　男女各3位までの入賞者

・場所　　仲の原園地

・時間　　7月1日（土）17時30分予定

・持ち物　選手ＡＤカード

※リレー競技上位3チームを対象に、競技終了後大会本部にて
　行う

１１．荒天時の対応

・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。

・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝８：００を目処に、（公財）東京都水泳協会ホームペーシ内の「更新情報」欄にて通知する。

・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「更新情報」欄にて通知する。

１２．競技補足

・ＯＷＳ競技の水着

OWS 競技における水着、ウェットスーツに関する規則は、FINA 規則に準拠し次のとおりとする。
１ OWS 競技会において、競技者は水着を１着（２ピース水着を含む）のみ着用することが許され る。追加となるようなアームバンド、レッグバンド等は水着としては認められない。すべての水着 （ウェットスーツを含む）は FINA が定めた規則および必要条件に準拠しなければならない。
２ OWS 競技会において水温が２０℃ある場合、男性、女性、両者の水着は、首を覆ったり、肩を 超えたり、足首を超えてはならない。OWS 競技用水着のその他の形状詳細については競泳競技会の条件に準拠する。
３ 水温が１８℃以上２０℃未満の OWS 競技会においては、水着もしくはウェットスーツを着用でき る。水温が１８℃未満の場合は、ウェットスーツの着用を義務とする。
注：この規則における、ウェットスーツとは保温性のある素材を使った水着である。男女のウェット スーツは胴体、背中、肩、膝を完全に覆うこと。またこれらのウェットスーツは首、手首、足首を超 えてはならない

（オープンウォータースイミング競技規則「付則」より）

※本大会は、マスターズの部出場者は海水温２０℃以上ある場合でもウェットスーツ、ラッシュガードの着用を認める

・（公財）日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク 等についての取扱規定」に準ずる。
この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

Tokyo Swimming Association

１３．安全について

・（公財）日本水泳連盟 「ＯＷＳ競技に関する安全対策ガイドライン」 に則り実施する
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf
・本競技会は、（公財）日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが、海上で安全管理を行う。
・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
・競技中、伴走するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断される場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。
・選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の選手受付終了時間までに、大会本部へ提出すること。

１４-１．国体選考について

- 公益財団法人東京都水泳協会　OWS委員長　　原　怜来

１４-２．国体選考について

１．　国体オープンウォータースイミング競技出場を希望する選手の中で、2023 年国民体育大会オープンウォータースイミング選考対象大会（下記参照）成績を参考に判断する。

【選考対象大会】TOKYO OPEN WATER SWIMMING 大島 2023（2023年7月1日）5km

※選考対象大会が緊急中止となった場合は直前のラップゲートの順位を最終順位とする。

２．選考は、東京都水泳協会選考委員会があたり、人数枠の範囲で選考する。

３．参加有資格者は、2009年 4 月 1 日以前に生まれた者。

１４-３．国体選考について

４．大会規則に基づき、下記のどちらかを満たしている選手を選考の対象とする。

（１）2023年4月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、国体標準記録を突破した選手

＊国体標準記録（1/100秒までを対象とする）

男子1500m自由形〈長水路〉17分00秒00、もしくは〈短水路〉16分45秒00

女子800m自由形 〈長水路〉 9分40秒00、もしくは〈短水路〉9分30秒00

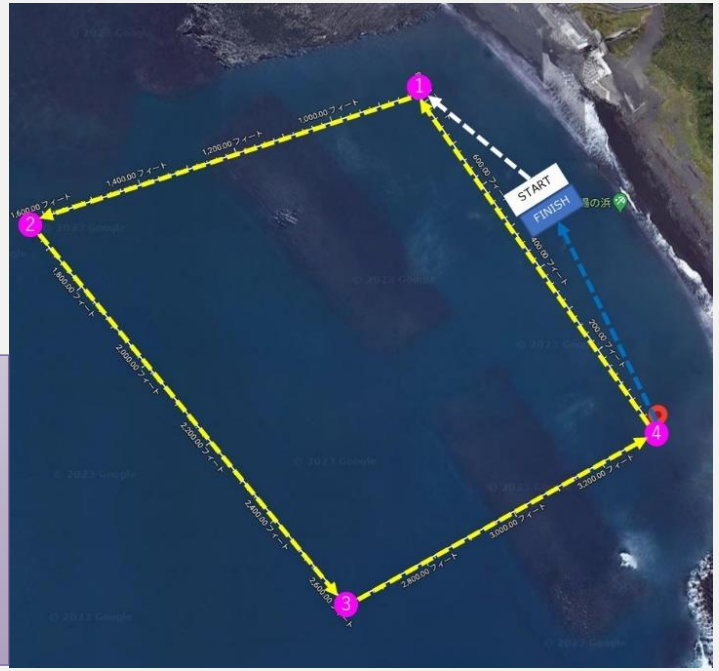
（２）2022年4月1日以降、日本選手権、本連盟認定大会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した選手

５．編成方針（東京都水泳協会が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。

６．編成人数は、最大２名（男子１名、女子１名）とする（選考日は未定）。

１５．緊急中止時について

緊急中止時は審判長より赤黄の旗で×を作ります。
またライフセーバーより、直接、選手に緊急中止の旨が伝えられます。その場合、進行方向の一番近いブイまで泳ぎ、ブイに掴ってお待ちください。
ライフセーバーがジェットまたは動力船で迎えにいきます。



2ブイと3ブイの間で緊急中止が伝えられたら、3ブイまで泳いでライフセーバーの迎えを待つ。

１６．緊急中止時の結果の取扱いについて

緊急中止時の結果は、直前のラップゲートの順位を最終順位といたします。

国体選考もそれに準じて実施いたします。

１７．緊急避難経路（津波）

津波の場合、ライフセーバーや競技役員は率先避難者となります。
つばき小学校に各自向かうようお願いします。

Tokyo Swimming Association

１８．緊急避難経路（雷雨）

雷雨の場合、テントでの待機は危険です。
サンセットプール等の建物、もしくは自身の車の中に逃げるようお願い致します。

Tokyo Swimming Association

１９．その他

・こまめな水分補給を心掛けること。
・ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと
・貴重品は各団体の責任において管理すること。
・事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
・会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において
　弁償すること。

２０．質疑応答

- Q & A

ありがとうございました

Tokyo Swimming Association